



国労東海

憲法と労働法制改革阻止
安定・安全輸送の確立

3地本が委員会を開く 18春闘を職場・地域から全力で

新幹線地本

新幹線地方本部は2月10日、東京・南部労政会館で第16回拡大地方委員会を開催し、18春闘に向けた取り組みを中心に、「仕事総点検運動」や組織の強化拡大、安全・安定輸送の確立などの当面する方針を満場一致で決定しました。

委員会では、小山委員長のあいさつ、来賓あいさつの後、森書記長が当面する闘争方針案を提起。討論では11人の委員から発言が出され、主に、「統一行動はO.B.も参加で一人一行動で春闘を盛り上げる」、「インフォメーションの設置、マスク着用、Jネットの取り扱いを要求に」、「Jネットのログオン時間の問題でタダ働きとなつている実態がある」、「アルコール検知器を使用するストローは使い捨て」とあいさつしました。



委員会であいさつする名古屋地本亀井委員長

名古屋地本

名古屋地本

名古屋地方本部は2月11日、名古屋市内で第130回拡大地方委員会を開催しました。

（機関紙「国労新幹線」第196号より抜粋）

静岡地本

森書記長の集約と「委員会宣言」を全員で確認した後、小山委員長の「団結ガンバロウ」で閉会しました。

静岡地本

岡市内で第130回拡大地方委員会を開催しました。若原委員長はあいさつで、「安倍自公政権は、安保関連法案を強行採決・特定機密保護法制定・共謀罪強行など、行き着く所は憲法9条改悪・戦争への道のりを突き進めている。安倍内閣の提唱する『働き方改革』は大企業優先の政策・国民生活無視の『働くかせ方改革』であり、労働法制改悪反対の闘いも進めています。

植田書記長は、結成70年を超えるいる国労の、この間の闘いなどを意見が出されました。

「がん」の保障

新生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス



新生きるためのがん保険Days		新生きるためのがん保険Daysプラス	
期間	料金	期間	料金
アフラック入院給付金1日額10,000円 加入料付合計10,000円	100歳 10,000円	アフラック入院給付金1日額10,000円 加入料付合計1ヶ月-1年 契約保険金なし(イレブン保険料支払期間終了時10年更新)	100歳 10,000円
診断料 100円	10,000円	診断料 20歳 2,020円 30歳 2,840円 40歳 4,270円 50歳 6,920円	10,000円
入院料 10,000円	10,000円	入院料 男性 20歳 2,190円 30歳 3,100円 40歳 4,590円 50歳 5,940円	10,000円
通院料 20円	20円	通院料 女性 20歳 2,200円 30歳 3,100円 40歳 4,600円 50歳 5,940円	2,500円
放射線治療料 100円	100円	放射線治療料 50歳 5,500円 60歳 7,500円 70歳 10,000円 80歳 12,500円 90歳 15,000円	5,500円
手術料 20円	20円	手術料 50歳 5,500円 60歳 7,500円 70歳 10,000円 80歳 12,500円 90歳 15,000円	5,500円
保育料 5円	5円	保育料 50歳 2,500円 60歳 3,500円 70歳 5,000円 80歳 6,500円 90歳 8,000円	2,500円

「生きる」を創る。Aflac

AF006-2016-0844 12月27日

討論では、地方委員4人と機関代表3人の質問や意見を受け、方針が国労たるゆえん。展望は答弁後に「職場改善と組織対策を両輪で。職場での矛盾や要求を繋がりを活かした拡大の教訓を確信にあらゆる可能性を活かし

と書記長集約がされました。方針案を全員で採択し、委員会宣言案を確認。亀井委員長の團結がんばろうで終了しました。

きろう。春闘戦術、綱領や闘う方針が国労たるゆえん。展望はたたかう中から切り拓こう」等と書記長集約がされました。方針案を全員で採択し、委員会宣言案を確認。亀井委員長の團結がんばろうで終了しました。

2014年2月22日現在

19連続ベアゼロは許さない

旅客・貨物組合員が一体で貨物支社前で総行動



行動では、東海本部の長岡委員長、全貨協の眞田議長、新幹線地本の小山委員長、静岡地本の塩沢副委員長、名古屋地本の亀井委員長がそれぞれあいさつと決意表明を行いました。またこの行動には、他労組の組合員2人も参加しました。



青年部も横断幕を掲げて参加した(上)
行動には50人以上の仲間が参加(下)

東海貨物協議会の鈴木議長は決意表明で、貨物会社を取り巻く情勢や働く労働者の現状などを報告し、「今年こそ19年連続ベアゼロを阻止、ベースアソブの獲得を目指し安全・安心して働き続ける環境や労働条件改善に向け頑張ろう」と決意を述べました。

その後、参加者全員で静岡貨物協議会の小川議長の音頭でシュプレヒコールを行い、最後に東海本部の上野書記長の団結ガンバローで終了しました。



参加者全員で貨物支社に向けてシュプレヒコール

東海本部は3月2日、愛知県稲沢市で貨物総行動を開催し、寒風吹く中50人以上の仲間がJR貨物東海支社前に集結しました。

行動では、東海本部の長岡委員長、全貨協の眞田議長、新幹線地本の小山委員長、静岡地本の塩沢副委員長、名古屋地本の亀井委員長がそれぞれあいさつと決意表明を行いました。またこの行動には、他労組の組合員2人も参加しました。

東海貨物協議会の鈴木議長は決意表明で、貨物会社を取り巻く情勢や働く労働者の現状などを報告し、「今年こそ19年連続ベアゼロを阻止、ベースアソブの獲得を目指し安全・安心して働き続ける環境や労働条件改善に向け頑張ろう」と決意を述べました。

その後、参加者全員で静岡貨物協議会の小川議長の音頭でシュプレヒコールを行い、最後に東海本部の上野書記長の団結ガンバローで終了しました。



組合員、OBら含め35人が参加した「JR30年を検証する三重の集い」

組合員、OBら含め35人が参加した「JR30年を検証する三重の集い」

（報告）

名古屋地本・鶴山

2月4日に三重県津市内で、「JR30年を検証する三重の集い」が開催され、国労組員やOB、三重県内各界関係者等35人が参加しました。

「国鉄闘争を支援する三重の会」村木会長のあいさつを受けた後、「JR東海在来線職場からの報告」を国労名古屋地本鶴山書記長が行い、各地から報告や意見、質疑等の討論がされました。

三重県内の松阪から伊勢奥津を走るJR名松線が2009年台風の被害により、バス運行に変わり、廃線の危機となつた時に「名松線を守る会」の会長として起ち上がった結城さんも参加され、「被災後、JR東海は線路復旧に乗り出さず、マスコミにも放置している線路をこれ見よがしに見

せ、三重支店への要請では冷たい硬直的な対応に終始。沿線住民や自治体で署名を取り組み、2週間で11万6200筆を持ってJR東海本社や中部運輸局にも要請した。しかし、時間は要したが奇跡の復旧となつた。会の皆さん力添えの賜物」などと当時を懐かしながら発言されました。

集会宣言案を採択し、会組織の発展的継承が提案され、JRを良くする会三重（略称）が承されました。

JRネット三重の規約案が了承されました。

記念講演として、JR不採用事件当时「鉄道フォーラム愛知」で要所を担い、現在は「鉄道の安全・サービスの充実を求める東海の会」会長である村上さんから「JRこれまでとこれから」と題して講演を受け、①国鉄からJRへ②JR発足30年③JR東海をへどうみるか④運動の方向などを大きく4点に渡つて丁寧かつ一刀両断の提言を受け、参加者は確信を得ました。

最後に会の西村事務局長から「万物は変化する。困難は伴うが引き続き時代に働きかけていこう」などとまとめ、散会としました。

「国鉄闘争を支援する三重の会」が発展的継承

家族の幸せを災害から守る

火災共済⊕オプション保障

火災共済の保障力を、 さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209



オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共栄火災海上保険㈱を引受け保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。



みんなで暮らしをガード
交運共済(JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共生活協同組合